

# 島根県立大学「21世紀・地球講座」平成25年度 開講科目

## 講座Ⅰ：「石見に生きる～石見の元氣人が話す」

会場：島根県立大学 講義・研究棟 中講義室3

講師名	科目名	概要	開講日
1 中村 俊郎 (中村ブレイズ株式会社 代表取締役社長)	石見の限りない輝き	中村ブレイズは昭和49年に中村俊郎が創業いたしました。京都と米国カリフォルニア州での義肢器具製作の研修・留学を経て、郷里である大田市大森町にUターンしての只一人での起業でした。義肢器具は障害を受けた方に処方され、製作する医療用具です。人々の元気の「もと」になることを願い、そして過疎化のすすむ史跡の町「石見銀山」再生の一助となればと、社員とともに一丸となって努力を続けてまいりました。今では海外の多くの国々とも交流するまでに成長することができました。2007年、大森町はユネスコの世界遺産に登録され、国内外の皆さんと一緒に、世界の宝となった感動と喜びを分かちあいました。	6月29日(土) 13:15~14:45
2 岡田 浄 (浜田市弥栄支所 自治振興課)	地域に暮らす	浜田市弥栄支所職員として、中山間地域地域に人々が集うということテーマとして行われてきたやさか郷づくり事務所平成20年度から係わり、地域の「あるものさかし」を行い、地域に暮らすことの豊かさなどについて地域と共に考えてきた。その中で、当たり前に行われている事の凄さや多くの技、そして人にスポットをあて、今まで中山間地域が失われてきた「地域に暮らす誇り」の取戻しを小学生から大人まで「集う」という事を通じて行っている。この取り組みを通じ、弥栄に暮らす中で、この地域での夢を語りたい。	7月31日(水) 18:15~19:45
3 藤田 貴子 (NPO法人てごねっと石見 事務局長)	連携しながらワクワクする まちづくりを目指して	駅前の再開発が計画されている江津で、ハード整備だけではなく、民間のつながる仕組みを試行錯誤しながら挑戦しています。江津には小さな魅力が散らばっています。その魅力をつなぎ、協力し、発信し、そしてワクワクし皆が関わりたいと思うまちづくりを目指しています。その活動をご紹介します。	10月16日(水) 18:15~19:45
4 横田 学 (産業人材育成 コーディネーター)	ふるさと(地方)を変えるのは 君達だ!!	少子高齢化と人口減の最先端を走っている島根県、お先真暗のふるさと? 繁栄は極集中(都市)人、モノ、金、情報、マネジメント、人材は大企業、ブランド企業、公務員に集中? しかし、人のこころは揺れている、本当の幸せとは? 大きな幸せか? 小さな幸せか? 人の繋がり・絆か? 自分を表現(人生)できる場所は(ステージ)は? 自分を見つけてくれる、自分が積極的に挑戦できるのは? 人・地域は? 君たちのチャンスは島根にあり、地方にある。島根を真の最先端に変えるのは君たち若者である!	11月6日(水) 18:15~19:45
5 竹本 弘子 (浜田市役所 高齢障がい課 高齢者包括支援係)	住み慣れた地域で 暮らし続けるために!!	世界的に例をみないスピードで高齢化が進むわが国では、将来の生活への不安が増大しています。浜田市でも平成25年1月現在31.91%と国や県よりも早いスピードで高齢化が進行しています。さらに要介護認定者の増加に併せて認知症者も増加傾向にあります。誰もが願う「住み慣れた地域での暮らし」の取り組みを紹介し、皆様と共に考えたいと思います。	12月11日(水) 18:15~19:45

## 講座Ⅱ：「未来を創造する」

会場：島根県立大学 講義・研究棟 中講義室3

講師名	科目名	概要	開講日
6 鎌田 恭幸 (鎌田投資株式会社 代表取締役社長)	「一人ひとりの小さな一歩が 未来を拓く」 ～一人ひとりできるリーダーシップ とは何かについて考える～	私たち一人ひとりとは微力です。しかし、決して無力ではありません。人は、働き方、生き方、お金の使い方、社会をより善くすることが出来るのです。リーマンショック直後の大混乱の中、在るべき金融の形を目指して鎌田投資という会社を立ち上げました。そして、これからの日本に必要とされる「いい会社」に投資をし、次なる世紀22世紀につながる価値を多くの人と共に創りたいという想いの投資信託「結い2101(ゆいにい いちぜろいち)」の運用を開始して丸3年が経過しました。そのなかから見えてきた「いい会社」の姿、社会に革新をもたらす人の生き方、在り方を通じ、私たち一人ひとりできるリーダーシップについて考えてみたいと思います。	5月11日(土) 13:15~14:45
7 三澤 誠 (有限会社エヌイーワークス 代表取締役社長)	地域に現金収入を得る 手段を創出したい	田舎は何も無いという人がいるが、それは「何も手がついていない」だけかもしれない。視点を変えるとチャンスが山なのかもしれない。その視点の変え方と、自分に能力がなくても新たな商品開発をしていく手法についてお話をします。田舎には「ひと、もの、こころ」が残っています!ただ、それが繁がらなければ力を発揮できない!今から自分が能力を身につける!今から自分が何かのプロフェッショナルになる!確かに素晴らしいことですが、もっと速く、もっと社会との連携を視野に入れた取り組みに仕組みが求められているように感じます。餅は餅屋とはのを得た言葉です。「餅は餅屋」と「人のふんどしで相撲をとる」この2つの言葉をキーワードにお話をします。そして、「やりたいこと」と「誰かがやらなければいけないこと」を実践している事例を弊社のモデルを交えてお話をします。普段あたりまえだと感じている地域への気付きが少しでもあれば嬉しいのです。	5月18日(土) 13:15~14:45
8 桧谷 進 (阪神食品株式会社グループ本社 代表取締役)	夢を創造して地球環境に 貢献する	サラリーマン生活を脱サラして会社を一人で興しました、これまでの過去、現在、未来を32年間の企業経営の中から実践して掴んだ事ややるからには「日本一」「人のやらない事をやる」「唯一を達成する」「常識は非常識」「循環型飲食店」の考え方 理念は・・・夢を創造して地球環境に貢献する・・・という大きなテーマでいつも夢に向かって進んでいます、どのような夢なのか 夢=目標です・・・叶うまでやる	7月13日(土) 13:15~14:45

## 講座Ⅲ：「言語を学ぶ」

会場：島根県立大学 講義・研究棟 中講義室3

講師名	科目名	概要	開講日
9 小林 明子 (浜田キャンパス)	内容言語統合型学習の紹介	高等学校の新指導要領で「英語の授業は英語で行う」という基本方針が示されるなど日本の語学教育は変化の時期を迎えています。本講座では、近年注目されている内容言語統合型学習(Content and Language Integrated Learning)を紹介します。このアプローチは、文学や経済、科学などの教科と外国語学習を融合させ、両者を同時に教えることを目指すものです。1回目の講座では、内容言語統合型学習がどのようなものなのか指導における基本的な考え方などについてお話をします。2回目の講座では、内容言語統合型学習が広く行われているヨーロッパの教育事例を取り上げます。また県立大学における授業例も紹介します。語学教育に興味を持ちの方、どなたでも参加できます。	11月27日(水) 18:15~19:45
10 ケイン・エレナ・アン (浜田キャンパス)	ヨーロッパでの 内容言語統合型学習		12月4日(水) 18:15~19:45

## 講座Ⅳ：「世界を旅する」

会場：島根県立大学 講義・研究棟 中講義室3

講師名	科目名	概要	開講日
11 金 恩志 (浜田市国際交流員)	韓国を旅する	昨年度、大好評だった「世界を歩く」講座ですが、今年はさらにバージョンアップして、「世界を旅する」と題してそれぞれの国の交流員さんにお話をさせていただきます。昨年度同様、各国の紹介はもちろん、今年度は、旅行をするならここがオススメ!とか、旅行の時に使えるちょっとした会話など、国際交流員がツアーコンダクターに扮して、それぞれの国をみなさまにご紹介します。	7月10日(水) 13:15~14:45
12 タチアナ・クラビヴィナ (島根県国際交流員)	ロシアを旅する		7月17日(水) 13:15~14:45
13 ドナルド・マルヤマ (浜田市国際交流員)	アメリカを旅する		7月24日(水) 10:20~11:50
14 王 恒 (浜田市国際交流員)	中国を旅する		7月31日(水) 10:20~11:50

## 講座Ⅴ：「アジアの中の日本学」

会場：島根県立大学 講義・研究棟 中講義室3

講師名	科目名	概要	開講日
15 飯田 泰三 (浜田キャンパス)	アジアの中の日本学① 稲の道(長江文明)から	日本文化の原型ないし古層は弥生文化の頃から始まる。日本のカミ信仰も天皇制もそのころ発生した。揚子江の中上流に始まる水田稲作文明(長江文明)が日本列島に及ぶ道をたどり、日本文化のルーツを探る。	9月25日(水) 18:15~19:45
16 飯田 泰三 (浜田キャンパス)	アジアの中の日本学② 南方(インドネシア)から	インドネシアのスラウェシ島トラジャには、広大な棚田と高床式の住居と米倉とともに、風葬が今も行われている。死者と生者の共存するアニミズムのあり方など、日本文化の原型を考えるヒントがそこにある。	10月2日(水) 18:15~19:45
17 飯田 泰三 (浜田キャンパス)	アジアの中の日本学③ 延辺(中国吉林省朝鮮族自治州)から	延辺の戸門江河口地域は、東はロシア、西は北朝鮮に接壤している。そして戸門江は日本海に流れ込んでいる。日帝時代、同地は満州国間島省だった。そこからは近代日本の北東アジアにおける位置が見えてくる。	10月9日(水) 18:15~19:45

## 講座Ⅵ：「社会を学ぶ」

会場：島根県立大学 講義・研究棟 中講義室3

講師名	科目名	概要	開講日
18 松田 善臣 (浜田キャンパス)	意外と知らない? 自転車のルール・マナー	子どもからお年寄りまで、免許もいらずに誰もが手軽に利用できる自転車。環境にもやさしく、健康にもよい。加えてガソリン不要で財布にもやさしい。よいこと尽くめの自転車の利用者数が近年増加しています。それに伴い、自転車の絡む事故も多発し、自転車のルールやマナーが見直されてきています。知っているようで知らない自転車のルール・マナーを本講座で再確認しませんか。	5月25日(土) 13:15~15:15
19 西藤 真一 (浜田キャンパス)	意外と知らない? 航空・空港のすがた	子どもからお年寄りまで、航空は近年ではビジネスやレジャーに欠かせない交通手段となっています。近年では従来より格段に安く、場合によっては高速バスよりも安く利用できる環境も整いつつあります。それに伴い、空港は多様な利用者の対応に迫られています。航空と空港の関係? 空港って誰の持ち物? 知っているようで知らない最近の航空・空港の様子を本講座で再確認しませんか。	5月29日(水) 18:15~19:45
20 マニング・クレイグ (浜田キャンパス)	県大生による海外での サービス・ラーニング	アジアの貧しい子ども達に教育の機会を与えるために県大生が行っている島根と海外での活動を紹介します。また、県大生が海外で人助けをして学んだことを元に、サービス・ラーニングから得る利益を見いだす。	5月29日(水) 18:15~19:45
21 福原 裕二 (浜田キャンパス)	「北朝鮮」について考えてみよう	「北朝鮮」という国は、本当に「得体の知れない」「何をしでかすかわからない」国なのか? 日本では「犬が人間を噛んでも記事にはならないが、人間が犬を噛んだら記事になる」式の情報によって、韓国では反共主義と民族合一の当為によって、その国の実態を見えにくくさせているだけではないか。この講座では、講師の見聞した「北朝鮮」を紹介しつつ、受講者のみなさんと「北朝鮮」について考えたいと思います。	6月12日(水) 18:15~19:45
22 村井 洋 (浜田キャンパス)	「政治家よ言葉を磨け —レトリカ(弁論術)について」	言葉が人間と世界を橋渡しし、時宜を得た言葉の発見が人と人の新しい関係を築くことがあります。この瞬間を目指して政治家は言葉を磨き人々に訴えてきました。古代ギリシアのペリクレス、リンカーン、日本の政治家の代表的な演説を読み、言葉のパフォーマンスを養う修辞学の伝統を紹介し、未来を開く弁論の意味を考えます。	6月26日(水) 18:15~19:45
23 井上 厚史 (浜田キャンパス)	石見地方の歴史遺産をどう観光に 結びつけるか—石見銀山と石州左官—	2007年に世界遺産登録された「石見銀山」は、いまでは石見地方を代表する観光スポットとなっています。しかし、ブームが去った昨今、観光客の減少は激しく、新たな観光戦略が求められています。いま何を考えるべきか。そのヒントを、昨年から調査を始めた「鏝絵(こてえ)」などの石見地方の歴史遺産に注目しながら、お話ししてみたいと思います。	7月17日(水) 18:15~19:45
24 久保田 典男 (浜田キャンパス)	インド・バンガロールにおける企業の展開 ～島根県立大学海外企業研修の経験から	島根県立大学ではグローバルな視野をもつ学生を育成することを目的とする海外企業研修が正式科目としてスタートしました。本講座では、同研修においてインド・バンガロールの企業や大学を訪問した経験を踏まえ、成長著しいインドにおいて日系企業や現地企業がどのように事業展開を図っているのかをみていくことを通じて、企業の国際化について考えていきたいと思います。	10月23日(水) 18:15~19:45
25 村井 洋 (浜田キャンパス)	都市と地方を結ぶ 「災害避難者保険」	今、日本の大都市は巨大地震対策という課題を抱え、地方は高齢化に伴う地域問題に苦しんでいます。都市と農村の関係を民俗学者で農政学者でもあった柳田国男などを鑑みながら歴史的な見地を交えて考え、また都市と農村の相補う協力のあり方を、鳥取県智頭町の「疎開保険」の例を紹介しながら展望します。	11月20日(水) 18:15~19:45